



2021年までに、

70%

以上の企業で、クラウドオフィスの環境が十分に整うでしょう。¹

Office 365の拡張

クラウドが手招きしています。移行を成功させ、新しいクラウド環境やハイブリッド環境を効率的に管理し、保護する準備ができていますか？

課題

クラウドの誘惑は強力です。実際、IT部門の38パーセントが、すべてのアプリケーションとインフラストラクチャをクラウドに移行するよう圧力を受けています。² そのプラットフォームに最適なのが、Office 365です。Microsoftの報告によると、Office 365の法人向け月間有料ユーザは1億3500万人以上にのぼり、Fortune 500企業の90パーセント以上が少なくとも1つのMicrosoftクラウド・エンタープライズ・サービスを利用しています。³ この結果、現在クラウドに保存されている機密データの60パーセント近くがOffice 365内にあると推定されます。⁴

しかし、貴社はクラウドに移行する準備ができていますか？ 移行は複雑で、リスクをはらんでいます。特に、経営陣に移行完了を急ぎ立てられている場合はなおさらです。多くの組織は、近年、急激なデータ増加とシステムの無秩序な拡大を経験しているため、どんなシステム、データ、ユーザ、許可、ポリシーを持っているか正確に理解していないことも多く、ましてやそれらをすべてクラウド内で適切に機能させる方法が分からなくても無理はありません。

さらに、Office 365への移行を成功させたとしても、仕事はそれで終わりではありません。クラウド環境の管理は、オンプレミス環境の管理とはさまざまな点で異なります。さらに事態を複雑にするのは、多くの組織が少なくとも一部のシステムと情報をオンプレミスで維持しなければならないもっともな理由があることです。つまり、Office 365とAzure ADの詳細だけでなく、ハイブリッド環境の複雑さに効率的に対処する方法についても学ぶ必要が出てきそうです。

最後に大事なこととして、Office 365のセキュリティとコンプライアンスがあります。Microsoftの報告によれば、Azure ADへの攻撃は毎日1000万回以上にのぼります。新聞の見出しになって恥をさらしたい組織はありませんし、誰もデータ漏洩の責任を取る羽目に

陥りたくないでしょう。一方で、コンプライアンス規制の数が増加し、その厳しさも増えています。会社が違反に対して厳しい罰則を課されることは何より避けたいことです。

皆様への影響

そのため、皆様は重大な課題に直面しており、以下のことが求められます。

- **クラウド技術を採用するという要求の高まりに迅速に対応する。** クラウドに移行することには、ビジネス上の正当な理由があります。クラウドがもたらすアジリティ、柔軟性、効率性は競争の激しい市場で継続的な成功を実現するためにしばしば重要です。ITチームが望ましいスケジュールで望ましい結果をもたらすことができない場合、組織の収益は危険にさらされます。さらに、経営陣は、戦略的イニシアチブにおける重要なパートナーとしてのITの能力を信用しなくなるでしょう。
- **セキュリティインシデントおよびコンプライアンス違反を防止する。** Microsoftはプラットフォームセキュリティに対して責任を負っていますが、許可を適切に割り当て、効率的なガバナンスを設定し、疑わしいユーザの行動にすばやく気付いて調査することはお客様の責任です。Microsoftがすべてのことをカバーしていると思いついておくと、セキュリティインシデントや、監査の失敗の危険性が高くなります。
- **ビジネスの混乱を最小限に抑える。** クラウドの移行中およびその後も、生産性を維持するために、日常業務のプロセスの混乱を最小限に抑える必要があります。ダウンタイムは、予定されたものであっても突発的なものであっても、時代遅れです！
- **予算を考慮しながらITの生産性を最適化する。** 最後に、移行の計画および実行と、新しいクラウド環境またはハイブリッド環境の管理および保護をすべて、可能な限り効率的に行う必要があります。クラウドベンダーが移行の主な利点はITのオーバーヘッドを削減することだと盛んに宣伝するので、新たにスタッフやコンサルタントを雇う予算を得ることは難しくなるでしょう。ネイティブツールやPowerShellスクリプトは無料ですが、労力やリスクとは無縁ではないことはよくご存知でしょう。これらを使うことは、目隠しをされたまま、松葉づえで競争するようなものです。ポイントソリューションは特定の問題の解決にはなりますが、コストがあつという間に積み重なり、その大赤字が破滅の元になりかねません。

1 Market Guide for Cloud Migration Tools

2 IDG 『2018 Cloud Computing Survey (2018年クラウドコンピューティング調査)』

3 Microsoft 『Why Microsoft 365? (なぜMicrosoft 365なのか?)』

4 Skyhigh Networks (Cameron Coles氏) 『Office 365 Adoption Rate, Stats, and Usage (Office 365の導入率、統計、使用率)』



Gartner

2019年版Market Guide for Cloud Office Migration Tools

Questは、40個すべての機能をサポートする唯一のベンダーである。

Gartner, 『Market Guide for Cloud Office Migration Tools』、
2019年2月28日
Gavin Tay, Adam Preset, Joe Mariano共著

Office 365の移行、管理、セキュリティのための頼りになるソリューション

優れた選択肢

ユーザやビジネスへの影響がほとんどないまま、Office 365にすべてのワークロードを委ねることができるとしたらどうでしょうか。Office 365環境またはハイブリッド環境を管理するために必要な時間、クリック数、労力を削減できるとしたらどうですか？そして、既存のセキュリティおよびコンプライアンスのフレームワークをOffice 365に拡張できるとしたら？

QUESTならではの実現可能な機能

Questは全Microsoft製品の頼りになるソフトウェアベンダーです。Questと連携すれば、パートナーとOffice 365ソリューション一式を得て、あらゆるMicrosoftのワークロードにおいて、移行、管理、セキュリティのすべてのニーズに対応できます。他のベンダーも1つか2つのことはできるでしょう。あるいは1つか2つのプラットフォームをサポートできるかもしれませんが、Questが提供する幅広さと深さには誰も太刀打ちできません。

移動: Exchange Online、SharePoint Online、およびOneDrive for Businessへの移行

Questは、ほとんどすべてのOffice 365移行シナリオに対処できるZeroIMPACT移行計画および統合ソリューションを提供しています。オンプレミスのExchangeまたはSharePoint環境からの移行、Lotus Notes、Box、Dropbox、G Suiteなどのサードパーティのプラットフォームからの移行、またはクラウドに既に統合されているIT環境からの移行のいずれであっても、Office 365環境をスケジュール通りかつ予算内に自信を持って実現できます。包括的な検出機能と計画機能により、ソース環境をクリーンアップし、移行に伴う潜在的な落とし穴を一掃できます。共存ツールにより、移行中のリソースへのシームレスなアクセスを保証します。エンタープライズクラスの管理とレポート作成により実行を簡素化し、その過程でデータやアプリケーションを統合したり、再構成したりすることも可能です。プロジェクト全体で、ZeroIMPACT手法は、ユーザ、ヘルプデスク、ITチーム、および収益への影響を最小限に抑えます。

管理: 手動タスクを自動化して、ITとエンドユーザの生産性を最大化

Office 365環境が実稼働した瞬間から、それを効率的に管理する必要があります。これを行うには、移行の計画と実行のために使用したのと同じ、おなじみのQuest®ソリューションを使用するのが一番です。1つのビューからOffice 365のテナントを360度見渡すことができ、ユーザ、グループ、グループポリシーおよび許可管理を自動化された承認ベースのワークフローにより簡素化できます。舞台裏では、メールボックスの使用率とストレージの傾向、Office 365のサブスクリプションの割り当てとサービスの使用率、削除できる非アクティブなアカウントなどを明らかにする効果的なレポート作成により、コストを管理できます。少量のデータ削除、不適切な変更、または広い範囲に及ぶデータロスが発生した場合、信頼性の高いバックアップおよび回復ソリューションを使って、業務を直ちに復旧させます。

保護: 強力なセキュリティと法令遵守の確保

さらに優れているのが、同じQuestソリューションで、Office 365やハイブリッドのADおよびAzure AD環境のセキュリティ体制を改善して、今日の複雑な脅威の状況に対抗し、厳しさを増す要求を満たすこともできる点です。包括的な評価によって、誰がOffice 365やその他のクラウドのワークロード（ユーザ、グループ、許可、その他の構成）にアクセス可能かを把握することができます。許可アクセスに関するレポートと、オンプレミスとクラウドの両方のワークロードに対する変更の監査を統合することで脆弱性を認識できるため、攻撃表面を最小化することができます。ハイブリッド環境でのオンプレミスとクラウドのIDを簡単に関連付けることさえできます。全体として、当社のエンド・ツー・エンド・ソリューションは、業務効率を改善するので、ITスタッフは、セキュリティと管理にすべての時間を費やすのではなく、イノベーションに注力できます。

Quest
quest.com/jp
世界各地のオフィスの情報については、(quest.com/jp-ja/locations)をご覧ください

Quest、およびQuestロゴは、Quest Software Inc.の商標または登録商標です。Questの商標の一覧については、www.quest.com/legal/trademark-information.aspxをご覧ください。その他すべての商標は各所有者に帰属します。

© 2019 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
SolutionBrief-O365Expansion-US-GM-JA-WL-39124

Quest